



れいほうちゅう

# 霊峰中だより

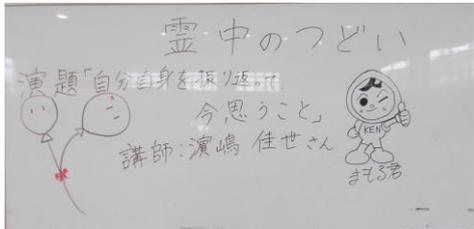
第8号

2024年11月28日

霊峰中学校長

Tel: 45-3024

## ☆霊中のつどい 演題「自分自身を振り返って、今思うこと」



11月15日(金)に霊中のつどいが行われました。最初に「部落問題を考える中学生の集い」のアピール文の紹介があり、講師の濱嶋佳世さんから「自分自身を振り返って、今思うこと」と題してお話を聞かせていただきました。

学級タイムでは、濱嶋さんのお話を聞いて感じたことや、学校生活を振り返って今思っていることなどを交流し、その後の全体会では学級タイムで話し合った内容の報告、感想の交流がありました。

当日は保護者の方や地域の方々にも来ていただき、人権についてみんなで考える時間となりました。以下におもな感想を掲載します。

○差別はあかんと分かっているけどなかなか行動できなかった。けどまずは自分の悩みや自分が考えていることを1人とか2人とか少数人数でもいいから、話してみると絶対になにか変わるから、そこから始めてみようと思った。もし自分が話をされる側の人だったら、話してくれた子が、言って良かったって思えるような言葉を返したり、まいさんのように自分も本音で話していくことでお互いに安心できる関係をつくりたい。

○たっちゃんに「被差別部落出身じゃない人に、部落出身の人の気持ちはわからん」と言った時、たっちゃんが「わからんからここへ来て考える」と答えたということが心に残りました。振り返ってみると、私は今まで自分と違う意見を持っている人や違う経験をしてきた人とは、はなから分かり合えないと思いき、その意見や経験をよく聞いたり考えたりしていないことが多かったです。違う環境に生まれて、被差別部落に生まれた人の気持ちはわかりたくてもわからないからこそ、高友にいたりして自分から行動することができるたっちゃんの姿から、自分はこれから違う意見でも、まずはしっかり聞いて考えようと思います。

### 《保護者の感想より》

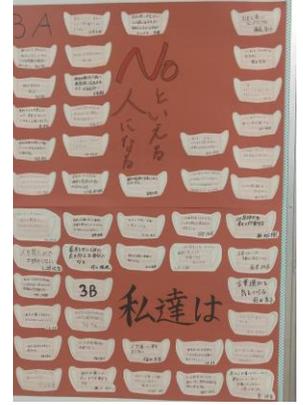
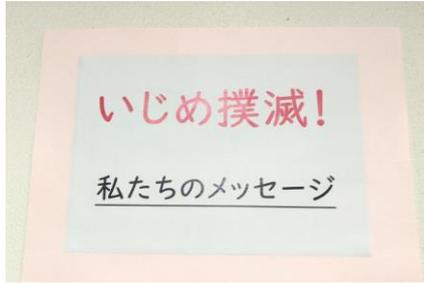
○今日の講演の中で印象に残ったことが2つありました。1つは「自分が大切にしてもらってはじめて自分がどれだけ友だちにひどいことをしていたか気づいた」ということ。もう1つは「自分がされている差別ではない、他の差別を自分の問題として意識したことがあるか」ということです。自分の子がどんな風になってほしいかを考えたとき、親自身が行動ができているか、無関心でなく、差別を意識したり、人に気持ちを伝えられているか振り返ることが必要だと

思いました。



## ☆いじめのない社会をつくる主体者であるために

生徒会が中心となり、各クラスで「いじめをなくすために自分にできること」を考え、メッセージを書きました。いじめは絶対に許されないことで、みんなで安心して過ごせる学校や社会にしていけるよう、これからも啓発活動を続けていきたいと思ひます。生徒玄関に掲示してありますので、学校にお越しの際にぜひご覧ください。



## ☆俳句カードゲーム「THE Kukai」

「せんせいの句会」様より俳句カードゲーム「THE Kukai」を寄贈していただきました。国語の授業で取り組んでみたところ、各グループで話し合いながら楽しんでいました。12月に行う後期レクでも縦割り班でやってみる予定です。俳句を楽しむ機会として有効に利用させていただきます。ありがとうございます。



## 令和6年度 いがまち展覧会 出展予定作品紹介

12月に行われるいがまち展覧会に蓋峰中学校の代表として以下の人たちの作品を出展します。ぜひご覧ください。

とき: 12月14日(土)9:00~16:30 12月15日(日)9:00~12:00

ところ: 西柘植地区市民センター(ふるさと会館いが)伊賀市下柘植6243番地

《書道部門》【1年】「天地」

【2年】「紅花」

【3年】「豊かな心」

《美術部門》【1年】「絵文字レタリング」

【2年】「浮世絵」

【3年】「ゴッホのひまわり」

Web版には生徒名を掲載しません